



第18回 高知県作業療法学会を終えて

- 日時：令和7年2月1日(土)・2日(日)
- 会場：ふくし交流プラザ

学会長 今城 可嗣 氏 (藤戸病院)



前回の第17回作業療法学会(以下：県学会)はハイブリッドで開催しましたが、完全対面では、コロナ禍以前の第15回県学会から、実に8年ぶりの開催となりました。オンライン研修が主流となる中で、どのくらいの会員が参加していただけるか不安ではありましたが、2日間で延べ169名の会員に参加していただき盛況に開催できました。

今回の県学会を振り返り、内容についてはアンケートから『基調講演やワークショップ、一般演題も良かった』という声をいただいていますので、ここでは言及せず「頑張った!」という想いを胸の内に秘めておこうと思います。

違う角度から私が県学会を通じて感じたことは、「人が集まることの大切さ」です。冒頭でも触れましたが、オンライン研修が普及し研修の受けやすさというのは非常に便利なツールになりました。これからは必要なものだと思います。とはいえ、私たち作業療法士の職域拡大や専門性を活かすのは一人でできるものではありません。「誰この人?」なんて思いながら、話しをするうちに「この人の取り組みに興味出てきた」といった新しい繋がりは、顔を突き合わせるからこそ良さではないでしょうか。そのような出逢いも対面開催が担える役割だと感じました。

私も今回の経験から、領域や世代の違いを越え、士会員同士のつながりを大切に出来るよう尽力していきたいと思っています。

優秀賞 受賞者紹介

(細木病院こころのセンター)
北村 剛 氏



2020年4月には障害者雇用率制度に精神障害も加わり、「共生社会」実現に向けて、我々精神科OTの支援方針も転換期にあり、皆さん試行錯誤されていることと思います。

今回、精神科デイケアでの就労支援の取り組みを発表しました。取り組んでいることは、集団で事業所を見学するというシンプルなものですが、優秀賞をいただきました。学会での精神科OTの発表は決して多くはないですが、私のように自身の支援が発表に値するほどのものかと躊躇している方も多いのではないのでしょうか。しかし、実際は様々な職種で勤務されているOTの方々にとっても参考になる多種多様な取り組みが、県内各地の精神科OTの支援で実践されていると想像します。是非発表して高知の精神科OTを一緒に盛り上げていきませんか。

(国立病院機構高知病院)
吉村 大輔 氏



本学会は完全対面・現地開催となり、運営スタッフのご支援もあり、滞りなく進行されておりました。発表演題も急性期から在宅、身体障害から精神分野まで多岐に渡り、いずれのセッションも活発なディスカッションがなされ、大変多くの学びがありました。本学会では、鏡視下腱板断裂修復術例における破局的思考と術後成績との関連性について報告させていただきました。第17回県学会に引き続き、恐縮ではございますが優秀賞に選出いただき、大変実りのある学会参加となりました。また、国立高知病院OT科では肩関節疾患に対する周術期の介入を通じ、医師らと連携し今後とも臨床・研究に取り組んでいきたいと考えております。最後に本学会の開催にあたり、ご尽力されました今城学会長をはじめ、運営スタッフの皆様へ感謝申し上げます。

(高知大学医学部付属病院)
堀野 友貴 氏

この度は優秀賞を賜り、大変光栄に感じております。選考委員の先生方、査読者の先生方、これまでご指導いただきました先生方に心より感謝申し上げます。

他の学会経験はありましたが、OT9年目にして初の県学会と緊張の中、結果としてこのような賞を頂き大変貴重な経験となりました。本学会では、時間節約的装具を応用した簡易パラソナーの有用性について報告させて頂き、ポータブルスプリングパラソナーと簡易パラソナーの比較において、STEFやHAND20で同等の結果が得られました。

今後は、訓練機器としての効果について検討を行い、今回発表した内容に新たなデータを加え、6月に開催されます第62回日本リハビリテーション医学会学術集会で発表を行う予定となっております。今後も県士会の発展に微力ながら貢献できるように日々、臨床・研究に邁進していく所存です。

≪地域共生社会の拠点≫ あったかふれあいセンターってどんなところ？



皆、ここで友達になっただけよ。

子どもから高齢者までどなたでも利用できる。集い以外でも訪問や生活支援及び行政へのつなぎ支援など、地域生活を支える大切な場所です。

31市町村55拠点 254のサテライトがあります。(令和5年4月時点)



いの町あったかふれあいセンター
長崎 早津紀 氏

あったかふれあいセンターの役割って何？

Q 自宅訪問や 相談・つなぎの役割

A 自宅へ伺い、生活状況や変化点の確認を行っています。また、金銭面や生活での困りごとなど、様々な悩みの確認をしています。必要に応じて、地域包括支援センターや社会福祉協議会など関連職種へのつなぎ支援を行っています。

Q 送迎がある集いや 生活支援の役割

A 送迎がある集いの時は、日常的な買い物支援を行っています。月に1回程度は、遠方に買い物に行っており、金銭管理や食事面など、普段確認のできない内容の聞き取りを行いながら関わっています。また、希望により受診や行政の手続きの同行も行います。

買い物も皆で話しながらしたら楽しいね。



ご利用者の変化点を聞きました

ご夫婦で利用していただいている方で、旦那様は慣れない場所に来たことで、怒ることが多々ありました。人に教えることが得意な方だったので、職員が様々なことを教えていただきながら、声かけなどの対応をしていました。2カ月程度経過するとニコニコしながら来ていただいています。奥様からは、「ここに来てよかった。」とおっしゃっていただきました。また、他の方々からも「落ち込みがなくなった」など、気持ちの変化を教えていただいています。

リハビリテーションスタッフへメッセージ

日々の生活を支援するだけではなく、ご本人が「やりたいこと」「したいこと」を実現するために、退院後の暮らしを日々意識していただくことが大切だと思います。インフォーマルサービスはその方が住む地域へ繋ぐ支援となります。困りごとがあれば、お力になれることもあるので、あったかふれあいセンターなどの地域に近い存在を頼っていただいても良いと思います☆



取材 文責 広報編集部／田上 大祐(仁淀病院)
取材同行者 広報編集部／澤田 直樹(いすみの病院)



～笑い声とコーヒーの香りに誘われて～

地域を支える認知症カフェ



認知症カフェってどんな活動してるの？

タイムスケジュールと会場の雰囲気

13:50～ 店内はコーヒーの香りが漂い、あたたかく、開始前から参加者同士の交流が始まっている様子です。カフェもほっとする雰囲気です。

14:00～ 担当作業療法士が挨拶と自己紹介をおこない、認知症予防について日常生活を例に挙げて説明をします。

取材は昨年(2022)の12月におこなったために、餅つきや大掃除などお正月前にすることや、羽子板やコマ回しなどお正月の遊びについてエピソード記憶にアプローチ。参加者からは懐かしむ様子が見られ、参加者同士での話もどんどん広がります。

14:30～ 次は注意機能に対して間違い探しなどを再開。
皆さん食い入るように問題を見つめ、問題の答えが合うと拍手をしたり、間違えても笑いが起こるなどにぎやかな場になっています。

15:00～ 脳トレ後はあたたかいコーヒーが配られ、最近の出来事や家族のこと、困りごとなど相談や雑談をして過ごします。脳トレで使った資料を「持って帰って勉強したい」とスタッフに話しかけている参加者もいらっしゃいました。皆さん次の開催日を確認し、「次も来るね。」と笑顔で手を振り帰路についていました。



担当作業療法士からのお話しを紹介します！～少しだけご紹介～

Q 認知症カフェで大切にしていること

A カフェですから、来ていただいた方に、人との交流を楽しんでいただくことが一番です。そのために、講話やクイズをしている時も地域の方へ話を投げかけたりしています。皆さん、おいしいコーヒーをいただきながら、笑顔で楽しんでくれています。それが一番ですね。

楽しんでいただくためにも、段取りを気にせずに皆様の流れに任せています。今日も15時までの予定が30分も過ぎちゃいましたからね(笑)。

取材・文責 広報編集部／柳本 由美(岡豊病院)
取材同行者／田上 大祐(仁淀病院)

続きは士会公式ライン・士会HPへ掲載します☆ -coming soon-

よさこいOT名鑑

野口 奈菜氏(愛宕病院)



Q 専門学生時代の思い出

A 実習では、実際に患者様の前に立つと緊張してうまくいかないこともありました。実習が終わった後にはお疲れ会をして、先生やクラスの人々と実習の話をしたりと普段聞けない話をできたことは良い経験になりました。

Q 趣味や楽しみ

A 私の趣味というか楽しみなことはよさこいです。家族や友達、職場の方が見に来てくれたりするのも楽しみで、張り切って踊っています。よさこいがきっかけでたくさんの方に出会い、リハビリ以外のお仕事の方と関わることでいろいろなお話を聞けたことが私にとってすごく良い経験になりました。これからも続けてよさこいに参加したいと思っています。



取材・文責／武市 啓志(訪問看護リハステーションドリームチーム)
取材同行者／柳本 由美(岡豊病院)
取材同行者／渡邊 一規(Clover Kids)

LINE 登録はお済みですか？

士会からのお知らせや研修会のご案内をしています。

URLを添付しているので、LINEから研修会の登録ができて、とっても便利です。

目指せ全員登録!!

記事を読んだあなた、今すぐQRコードの読み込みをしてみませんか？(^ ^)



現在のLINE登録者数 **567 名**

会員数 **697 名** (令和7年8月末現在)

広報編集部からの お知らせ

**今年度でよさこいにゅーす発行・発送は終了！
来年度より、HPへ移行します！**

今後お知らせなどは **士会公式 LINE** を活用しますので、登録をお願いします。